

## 編集後記

### ★「暑さ寒さも 彼岸まで」 近年 地球温暖化に伴う 異常気象続く 櫻前線 日本列島北上中 寒の戻り 花冷えに注意

「1月往ぬる、2月逃げる、3月去る」ハヤ 弥生。17日は彼岸の入り。諺で「暑さ寒さも彼岸まで」といわれるが、昨日は春雷とともに雹が舞い冷たい豪雨。今朝の最低気温2度と身に  
応える寒さ。処が 彼岸明けには 一気に気温上昇し、24日には櫻の開花予報。まだまだ寒暖  
差が大きく“寒の戻り” “花冷え”等の言葉もあり、特に高齢者は体調を崩し易く 室温等に  
気を付けて欲しい。

### ★ 横浜薬科大学 研究チーム 65歳以上 145万人調査 薬6種類以上 高齢者の2割 リスク増・相談で減薬に期待

横浜薬科大の研究チームが、薬局のシステムに登録された 65歳以上の高齢者 145万人を対象に  
2020年4月～2023年9月の期間で調査施行。65歳以上のうち6種類以上の薬を服用する患者  
は19.6%、90歳以上になると34.7%にも上昇。高齢になるほど投薬の割合が高くなる傾向が  
あると調査結果を公表。多剤服用による副作用や飲み間違える等のリスクも高まることが高齢  
者の課題となっている。調査では胃腸薬やアレルギー薬、痛み止め等の不要な投薬が目立った。

横浜薬科大学 薬学部 田口 真穂助教授は「処方薬を勝手にやめると悪影響が出る恐れある。  
薬剤師や医師に相談し減薬してもらおう等が必要。更に 減薬により医療費削減効果も期待でき  
る」としています。高齢者が医療機関受診時に体調不良を訴えると、薬を増やすことばかり行  
うが、リスクも考えて必要な薬のみを最小限にとどめて欲しいものです。

### ★ 全国的に感染性胃腸炎 (Norovirus) が猛威 集団感染が流行 寒冷・乾燥を好み 冬場に感染拡大

春の5K(乾燥・強風・寒暖差・花粉・黄砂)で体調を崩し易く、更に 全国で感染性胃腸炎が  
連日猛威を振っています。食中毒は1年を通じて発症。細菌性食中毒の原因菌では、サルモネ  
ラ菌・病原大腸菌類・ブドウ球菌・ウェルシュ菌・カンピロバクター等があり、寄生虫による 食  
中毒にはアニキサス等があります。Virus性の食中毒はNorovirusによるものがほとんどです。

Norovirusが、冬場に流行する原因は明らかではないが、温暖化などの気候変動が影響をお  
よぼしているのではないかと研究もあります。只 寒い時期に空気が乾燥し湿度が低い環境  
を好み、換気が少なくなるため空気感染が起きやすいともいわれています。ごく少量のVirus  
量でも感染します。かつては 生牡蠣等の経口感染(食品など)で起こると言われていました  
が、接触感染(Virus付着した手や指)・飛沫感染(患者の咳やくしゃみ等)・空気感染(患者  
の吐瀉物などが乾燥し、空気中に浮遊したVirus等)など 多様な感染経路があります。除去  
方法としてアルコールやエタノールは効きにくく 塩素系の消毒剤や家庭用漂白剤が有効です。

調理人から拡大するため、仕出し弁当屋・焼肉店から集団感染が発生し拡大中。現在 集団  
感染で学級閉鎖をしている所もあり、生ものに注意し 手洗い等を徹底することが重要。年中  
感染症が流行しており、下痢・嘔吐の症状が出たら確定診断のため 医療機関受診が必要です。

生物の 移動が始まる 温暖化

春と冬 並んで立つや 梅の下

令和7年 彼 岸

(文責 MMY)

